

「ヴォイス」 Voice

三好町では、町民の皆さまからの町政に対する意見を久野知英町長が直接お聴きする「町長とのふれあい座談会」を開催したり、提言箱や電子メールなどを通して「皆さまの提言」をいただいたりすることによって「心の通う対話の町政」を進めていこうと努めています。

この「コーナー」では「町長とのふれあい座談会」で寄せられた意見と町長の発言要旨や「皆さまの提言」、ホームページのお問い合わせに寄せられた意見のうち、主に生活にかかわる内容の意見などを要約・集約したものと回答を紹介しています。今回は「皆さまの提言」に寄せられた意見の要旨と、それに対する三好町としての考え方を抜粋して紹介します。

皆さまの提言

意見

(電子メール)

「わくわくルーム・ぴよちゃんルーム・あかちゃんルーム」の申し込み方法について

今年、黒笹保育園内にできた黒笹地区子育て支援センターで歌や絵本の読み聞かせなど、センターのスタッフの皆さんには、とてもよくしていただき、「あかちゃんルーム」に楽しく参加しています。各子育て支援センターで行われている「わくわくルーム・ぴよちゃんルーム・あ

かちゃんルーム」の申し込み方法についてですが、現在は、申し込み日時が1日だけ指定されていて、その受付時間内に希望の支援センターへ直接申し込みに行くという方法がとられています。

今年4月に1歳になる子どもを連れて黒笹地区子育て支援センターへ申し込みに出掛けました。受付開始15分前に、既に申込者の長い列ができていた状態でした。わくわくルーム・ぴよちゃんルーム・あかちゃんルームとそれぞれ申し込み先別に列が分かれていなかったため、自分が希望するルームの定員に入れるかどうかも分からず、待っている間とても不安でした。

また受け付けに時間が掛かったため、並んでいるときに小さな子どもを連れて

いる周りの皆さんもわたしも、子どもがぐずり出してとても大変でした。申し込み方法を、はがきやファクス、各窓口で直接申し込みした後、抽選で決定するなどの方法にできませんか。願わくば、申込者全員を参加させてほしいです。

小さな子どもを連れて長時間並ばずに済むような方法を検討してください。

答え

(担当 子育て支援課)

来年度は受付期間を3日間程度設けて対応します

平成21年度より、黒笹地区子育て支援センターを開設しました。事前に支援センターと各ルームの受け付け方法について調整を行ってきましたが、黒笹地区では今回が初めての受け付けで、応募人数の想定など細かい部分までの調整が難しくかったためにご迷惑をお掛けしてしまいました。

現在、各支援センターでは、前年度の実績を踏まえ、申込者の皆さんの負担を少しでも軽減できるよう、対応しております。今回の提言や支援センターからの報告に基づき、黒笹地区子育て支援センターをはじめ、各支援センターの来年度の受付方法について検討をしました。その結果、来年度は各支援センターで申込期間を3日間程度設け、その受付時間内に直接保育園で皆さんから利用希望を受け付けたいします。受け付けした各支援



▲わくわくルーム・ぴよちゃんルーム・あかちゃんルームでは、親子遊びなどを行うなどして親子のふれあいの場や子育ての情報交換の場として利用していただいています

連載第79回



台風18号が東海地方を直撃

今年、戦後最大の水害被害をもたらした伊勢湾台風の襲来からちょうど50年になります。愛知県では、あの恐ろしさ、悲惨さを忘れることなく後世に伝えようと各種イベントを開催。防災についてPR活動をしています。

「災害は忘れたころにやってくる」と昔からいわれていますが、最近では地震は忘れる間もなく立て続けに起きています。しかし台風は「忘れたころ」にやってきました。台風の上陸は、2007年9月以来2年ぶり。比較的珍しい10月の台風が、ここ10年間で最大の勢力を伴ってやって来たのです。

伊勢湾台風並みに大型で強く、そのうえコースまで似ているとすれば、当時を知る人であれば震え上がるほどの衝撃を受けたと思います。当時高校生だったわたしは、大きく揺れる家の戸を必死で押さえていたものです。わが家ではトタン屋根が飛ばされ、近所の家は倒壊。そのときの光景が脳裏に浮かび、祈る思いで今回の台風18号の進路を注視していました。わが町では最

大瞬間風速34メートルを観測。真夜中で見通しが効かない中での強い風雨には、余計に不安が募りました。幸いにも台風の中心の進路は、三好町より東にそれたため、わが町の被害は最小限で済みました。しかし各地では大きな被害も報道されていて台風の威力をまさまざと見せつけられました。

役場防災安全課は、暴風警報が出た10月7日午後10時前には、既に配備に就いていました。午後11時から第一次非常配備態勢をとり、職員の非常配備班を2個班召集。およそ40人態勢で対応しました。また第1回の災害対策本部員会議を開いて現況を報告。大雨洪水警報の発令を受けて、8日午前1時30分には第二次非常配備態勢に移行。非常配備班をさらに2個班召集し、総勢60人態勢で警戒に当たりました。夜が明けて、倒木や農作物の被害などの報告がありました。すぐに対応し、午前中には対策本部を解散。通常の勤務体制に戻りました。

台風は、かなり前から予測できますが地震の場合はそうはいきません。われわれは常に危機管理意識を持ち、どのような場合にも対応できるように、さらに精進します。今回の台風は、災害対応のための貴重な経験になりました。

三好町長

久野知英

センターにて、申込者数の状況に合わせ実施回数を増やすなどして、できるだけ多くの皆さんに利用していただけるように対応する予定です。

しかし、支援センターのある保育園の実情や施設面積、利用者の年齢などを踏まえ、やむを得ず希望する保育園で対応できない場合は抽選で決定させていただきます。抽選の結果、お断りした場合には、ほかの保育園支援センターの空き状況をご案内させていただきます。今後とも皆さんのご理解とご協力をお願いします。

意見

(提言箱)

保田ケ池の水質について

わたしは、保田ケ池で力ヌーの練習をしています。池の水が汚く感じます。きれいな水にできませんか。

答え

(担当 農政商工課)

保田ケ池の水は、田や畑へのかんがい用として使われています。

保田ケ池は本来ため池として、田や畑のかんがい用の引き水として使われています。保田ケ池には愛知用水の水を引かれています。今年、雨が多く、かんがいに使用された水量が例年に比べ少なかったため、池の水があまり循環せず濁りが多かったのではないかと考えられます。力ヌー競技で池を利用されている皆さんには、ご理解とご協力をお願いします。

皆さまからの提言をお待ちしています



三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。そのほか、下記①から③のいずれかの方法でも受け付けています。

▶提言箱設置場所＝役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

- ①電子メール… ☒ teigen@town.aichi-miyoshi.lg.jp
- ②ファクス… FAX (34)6008
- ③郵便… 〒 470-0295 三好町役場秘書広報課あて(住所不要)

※皆さんからいただいた提言は、町全体に対する提言としてとらえ、個別の回答はしません。三好町ホームページ(<http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp>)の各ページ下部にある各担当課への「お問い合わせ」フォームをご利用いただいた問い合わせに対しては、担当課から直接回答させていただきます。秘書広報課 ☎(32)8357



携帯電話からメールで提言できます